

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)葉山町堀内計画II新築工事	階数	地上3F、地下1F
建設地	神奈川県三浦郡葉山町堀内字森戸1250-2 他5筆	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、22条地域	平均居住人員	72人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2024年11月12日
敷地面積	1,770 m ²	作成者	株式会社APOLLO一級建築士事務所
建築面積	1,130 m ²	確認日	2024年11月12日
延床面積	4,371 m ²	確認者	株式会社APOLLO一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
全住戸とも誘導仕様基準を満足する外皮性能かつ、ZEH Oriented相当の設備仕様。外構部に可能な限りの植栽を設け、地球環境および建物利用者の心身の健康へ配慮。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
専用部においては庇(上階バルコニー)とカーテンにより適度に昼光を制御し、エントランスホールには豊富に昼光を採り入れる設計。	耐用性に配慮し、居住者への負担を低減。階高、天井高を確保することで、心理的負担を低減。	外構を可能な限り緑化し、良好な環境を創出。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
全住戸誘導仕様基準の外皮性能かつ、ZEH Oriented水準の設備仕様。	LGST地やGL工法により、建材の再利用可能性を向上。	充分な駐車スペースを確保し、周囲への交通負荷を抑制。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される